

令和5年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会	所管課	市)文化振興課		
		記入者	担当	工藤	電話 011-211-2261
基本財産	136,760千円	本市出資額	100,000千円 (出資割合 73.1%)		
設立年月日	平成14年(2002年)4月1日	出資年月日	平成14年(2002年)4月1日		
設立・出資目的	この法人は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌を通じて、世界最高水準のオーケストラ教育を実施するとともに、演奏会等の音楽の普及に関する事業を行うことにより、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献することを目的とする。	沿革	平成2年	民間企業等が主体となり、第1回パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)を開催	
			平成3年	PMF組織委員会が主体となり、第2回PMFを開催	
			平成14年	(財)PMF組織委員会として認可	
			平成22年	(公財)PMF組織委員会へと移行	
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)				
主な出資者	① 札幌市 (73.1%) ② 野村証券 (7.3%) ③ 北海道 (3.7%) ④ トヨタ自動車 (2.2%) ⑤ 北海道新聞社 (2.2%) ⑥ パナソニック (2.2%)				
団体所在地	〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14住友生命札幌中央ビル電話 011-242-2211				

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 教育事業 (6ページ)	② 演奏会事業 (7ページ)
世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。
③ 音楽普及事業 (8ページ)	④
演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。	
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	95.9% (主要事業支出合計 401,436千円 ÷ 総支出 418,554千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、参加したアカデミーの育成を実践するとともに、年間延べ3万人以上の市民が音楽に親しむ機会を提供することで、芸術文化の普及発展を図っていると認められるため。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、3,600人を超えるアカデミー修了生が世界の主要なオーケストラ等に所属しているほか、世界でも有数の音楽家であるPMF教授陣が加わった演奏会を行うことにより、質の高い音楽に触れる機会を市民に提供していると認められるため。

3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期		
						10歳代	20歳代	30歳代	平均年齢	理事	監事	
常勤理事	1	0	0	0	10	0	0	2	45.8 歳	2年	4年	
常勤監事	0	0	0	0		0	0	0		代表権のある役員 の就任年月		
非常勤理事			7								理事長	H28.6
非常勤監事			2							副理事長	R3.4	
職員					16					職員総数の推移(人)		
常勤管理職	0	3	1	0		R03.4.1時点		16				
常勤一般職	0	0	12	0		R04.4.1時点		16				
非常勤職員			0									

(公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R3年度決算	R4年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常収益(a)	261,498	453,803	(100.0%)	(+192,305)	
		経常費用(b)	266,729	418,554		(+151,825)	
		うち管理費等(c)	24,758	26,537	(5.8%)	(+1,779)	
		うち人件費(d)	82,325	84,335	(18.6%)	(+2,010)	
		当期経常増減額(e)	▲ 5,231	35,249		(+40,480)	
	当期正味財産増減額(f)		▲ 5,252	35,229		(+40,481)	
	貸借対照表	資産(g)		312,376	360,749		(+48,373)
		流動資産(h)		84,251	80,602		(▲ 3,649)
		固定資産(i)		228,125	280,147		(+52,022)
		うち基本財産(j)		136,760	136,760		(0)
		負債(k)		30,985	40,764		(+9,779)
		流動負債(l)		30,985	40,764		(+9,779)
		固定負債(m)		0	0		(0)
		正味財産(n)		281,391	319,985		(+38,594)
借入金残高(o)		0	0		(0)		

R4年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	新型コロナウイルス感染症の影響が軽減したことにより、事業規模を大幅に縮小した前年度に比べて一定程度事業規模を回復させたことによるもの。
b	新型コロナウイルス感染症の影響が軽減したことにより、事業規模を大幅に縮小した前年度に比べて一定程度事業規模を回復させたことによるもの。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	147,557	300,504	(+152,947)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考)再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考)市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	144,631	183,225	(+38,594)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	90.1%	88.7%	(▲1.4%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	271.9%	197.7%	(▲74.2%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	81.1%	87.6%	(+6.5%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	16,344千円	28,363千円	(+12,019千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	31.5%	18.6%	(▲12.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	1,547千円	1,659千円	(+111千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	9.5%	5.8%	(▲3.6%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	56.4%	66.2%	(+9.8%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	56.4%	66.2%	(+9.8%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	・債務超過、累積欠損の状態にはなく、自己資本比率、流動比率、固定比率は健全である。 ・PMF 2022の開催など各事業は滞りなく実施しており、コロナ禍中の令和2・3年度に比して生産性や自立性は改善されている。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○現状の出資比率を継続する						
①	市出資比率	目標	100,000千円	100,000千円	100,000千円	
		実績	100,000千円	100,000千円	100,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(2)人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○必要な人的関与の維持						
①	市派遣職員数	目標	3人	3人	3人	
		実績	3人	3人	3人	
		評価		達成	達成	
②	市職員の理事就任数	目標	2人	2人	2人	
		実績	2人	2人	2人	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○市民誰もが音楽に触れる機会とまちの賑わいの創出						
①	来場者数（札幌市内）	目標	4,500人	15,000人	18,000人	
		実績	934人	7,855人	21,369人	
		評価		達成	達成	
②	アウトリーチコンサート開催数	目標	15回	15回	15回	
		実績	13回	7回	15回	
		評価		未達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○						
①	協賛企業数	目標	80社	85社	90社	
		実績	2社	83社	87社	
		評価		達成	達成	
②	企業協賛金額	目標	70,000千円	75,000千円	80,000千円	
		実績	600千円	88,180千円	88,670千円	
		評価		達成	達成	
③	寄附金額	目標	5,500千円	6,000千円	6,500千円	
		実績	8,886千円	7,233千円	6,820千円	
		評価		達成	達成	
④	新たな資金獲得手段の開拓	目標	検討	一部実施	実施	
		実績	検討	検討	一部実施	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○PMF組織委員会の事業体制の強化						
①	職員研修プログラム数	目標	6回	8回	10回	
		実績	5回	6回	12回	
		評価		達成	達成	
②	危機管理体制のマニュアル化	目標	一部策定	策定	策定済	
		実績	調査・研究	一部策定	策定	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用						
①	来場者数（北海道内）	目標	5,000人	16,000人	19,000人	
		実績	934人	8,341人	23,009人	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

事業評価 (1) 教育事業

1. 事業概要

事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課

担当： 工藤

電話： 011-211-2261

(1)事業内容	オーディションにより世界各国から選抜した若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を中心とした教育の実施及びその成果の発表を行う。 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業	市負担金 154,911
(2)事業目的	世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。	
(3)事業開始	平成3年(1991年) 月 日	

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		118,342 (45.3 %)	200,926 (44.3 %)	(+82,584)
	市補助金・交付金・負担金	70,795	154,911	(+84,116)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	47,547	46,015	(▲ 1,532)	
費用(支出)		128,852	221,317	(+92,465)	
	事業費	116,968	208,579	(+91,611)	
	管理費等	11,884	12,738	(+854)	
	収支差	▲ 10,510	▲ 20,391	(▲ 9,881)	
	収支比率	91.84%	90.79%	(▲ 1.06%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	オーディション受験者の出身国・地域数	56	-	68	-
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	オーディション受験者数	973	-	1,090	-
②	オーディション合格者数	52	-	74	-
③	倍率(受験者数/合格者数)	18.7倍	-	14.7	-
④	PMF修了生の延べ人数	3,665	-	3,717	-
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない PMF 2020(令和2年度)は中止、PMF 2021(令和3年度)は国内関係者のみでの開催であったが、PMF 2022(令和4年度)は海外からのアーティスト招へいを再開し、会期中の全日程を全うすることができた。これまで行ったPMFオーケストラ演奏会や、様々な編成での室内楽やリンクアップ・コンサートなどの多彩な活動を通じて、次代を担う若手音楽家を育成し、クラシック音楽を支える将来の聞き手を育み、音楽ファンを拡大させるという二つの大きな成果を獲得したものと判断する。なお、活動指標と成果指標にあっては、事業の性格上これに代わる指標の設定は困難だが、大学等関連機関・団体への周知等に最大限努めており、目標を設定した場合においても達成のための手段が特段存在しないことから、目標の設定は行っていない。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、他事業との収入額の調整を行っていることから、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

事業評価 (2) 演奏会事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 工藤	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	PMFアカデミー生及び教授陣等による演奏会の開催 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業		市補助金 131,676
(2)事業目的	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		
(3)事業開始	平成3年(1991年) 月 日		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		125,887	228,661	(+102,774)
	市補助金・交付金・負担金	(48.1%)	(50.4%)		
	市業務委託料	68,523	131,676	(+63,153)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	9,834	42,009	(+32,175)	
	その他収入	47,530	54,976	(+7,446)	
	費用(支出)	123,779	180,119	(+56,340)	
	事業費	112,638	168,177	(+55,539)	
	管理費等	11,141	11,942	(+801)	
	収支差	2,108	48,542	(+46,434)	
	収支比率	101.70%	126.95%	(+25.25%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	公演数	16	25	25	25
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	演奏会入場者数	4,760	10,000	13,322	15,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	PMF2021(令和3年度)は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内関係者のみで開催し、会期後半のプログラムは中止という結果になったが、PMF2022(令和4年度)は海外からのアーティスト招へいを再開し、会期中の全日程を全うしており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準に向け改善しつつある。 これにより、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は概ね達成できたものと判断する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

事業評価 (3) 音楽普及事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 工藤	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	<p>1 【リンクアップ・コンサート】アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールの教育プログラムをもとに開発した札幌版の音楽教育プログラム。札幌市内小学生を対象に実施。</p> <p>2 【公開マスタークラス】PMF教授陣が北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その模様を一般に公開する公開マスタークラスを実施。</p> <p>3 【PMFクラシックLABO♪】初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える講座。</p> <p>4 【オープンリハーサル】PMFオーケストラのリハーサルやゲネプロを一般に公開するプログラム。</p> <p>【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業</p>		市負担金 13,917
(2)事業目的	演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。		
(3)事業開始	平成3年(1991年) 月 日		

2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位 千円)	収入(経常収益比)	16,629 (6.4 %)	23,593 (5.2 %)	(+6,964)	
	市補助金・交付金・負担金	8,239	13,917	(+5,678)	
	市業務委託料	121	0	(▲ 121)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	1,335	2,829	(+1,494)	
	その他収入	6,934	6,847	(▲ 87)	
	費用(支出)	14,099	17,120	(+3,021)	
	事業費	12,366	15,262	(+2,896)	
	管理費等	1,733	1,858	(+125)	
収支差	2,530	6,473	(+3,943)		
収支比率	117.94%	137.81%	(+19.87%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	オープンリハーサル開催数	1	5	5	5
②	PMFクラシックLABO開催数	2	2	2	2
③	リンクアップ・コンサート開催数	0	1	1	1
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	オープンリハーサル来場者数	54	300	332	300
②	PMFクラシックLABO来場者数	327	400	333	400
③	リンクアップ・コンサート参加者数	-	700	578	700
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	PMF2021(令和3年度)は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内関係者のみで開催し、会期後半のプログラムは中止という結果になったが、PMF2022(令和4年度)は海外からのアーティスト招へいを再開し、会期中の全日程を全うしており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準に向け改善しつつある。 これにより、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は概ね達成できたものと判断する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,135,100	77,011,025	△ 875,925
未収金	148,400	305,084	△ 156,684
前払金	2,160,210	2,211,103	△ 50,893
商品	335,559	608,497	△ 272,938
貯蔵品	1,797,994	4,103,062	△ 2,305,068
仮払金	25,130	12,430	12,700
流動資産合計	80,602,393	84,251,201	△ 3,648,808
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	129,056,330	129,049,330	7,000
普通預金	7,703,670	7,710,670	△ 7,000
基本財産合計	136,760,000	136,760,000	0
(2) 特定資産			
教育・演奏会事業安定積立金	81,000,000	81,000,000	0
周年事業等特定費用準備資金積立金 (PMF40回記念事業)	50,000,000	0	50,000,000
次年度事業特定預金	4,857,500	1,492,000	3,365,500
特定資産合計	135,857,500	82,492,000	53,365,500
(3) その他固定資産			
建物	185,396	216,078	△ 30,682
什器備品	806,020	1,222,596	△ 416,576
電話加入権	25,077	25,077	0
ソフトウェア	6,513,467	7,409,600	△ 896,133
その他固定資産合計	7,529,960	8,873,351	△ 1,343,391
固定資産合計	280,147,460	228,125,351	52,022,109
資産合計	360,749,853	312,376,552	48,373,301
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,993,299	12,732,028	△ 6,738,729
未払法人税等	20,000	20,000	0
未払消費税等	13,926,500	7,963,800	5,962,700
前受金	20,635,000	10,024,000	10,611,000
預り金	188,824	245,218	△ 56,394
流動負債合計	40,763,623	30,985,046	9,778,577
負債合計	40,763,623	30,985,046	9,778,577
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金(次年度事業特定預金)	4,857,500	1,492,000	3,365,500
寄付金(基本財産)	136,760,000	136,760,000	0
指定正味財産合計	141,617,500	138,252,000	3,365,500
(うち基本財産への充当額)	(136,760,000)	(136,760,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,857,500)	(1,492,000)	(3,365,500)
2. 一般正味財産	178,368,730	143,139,506	35,229,224
(うち特定資産への充当額)	(131,000,000)	(81,000,000)	(50,000,000)
正味財産合計	319,986,230	281,391,506	38,594,724
負債及び正味財産合計	360,749,853	312,376,552	48,373,301

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	496,671	510,000	△ 13,329
基本財産受取利息	496,671	510,000	△ 13,329
特定資産運用益	126,240	128,160	△ 1,920
特定資産受取利息	126,240	128,160	△ 1,920
受取会費	2,781,000	2,988,000	△ 207,000
賛助会員受取会費	2,781,000	2,988,000	△ 207,000
事業収益	44,838,040	11,290,000	33,548,040
演奏会チケット収益	35,228,900	9,653,500	25,575,400
その他演奏会収益	500,000	0	500,000
公演契約料収益	8,529,940	1,305,000	7,224,940
教育セミナー参加料収益	579,200	331,500	247,700
受取補助金等	6,200,000	2,700,000	3,500,000
受取地方公共団体補助金	2,700,000	2,700,000	0
受取民間助成金	3,500,000	0	3,500,000
受取負担金等	300,504,000	147,557,000	152,947,000
受取地方公共団体負担金	300,504,000	147,557,000	152,947,000
受取協賛金	88,670,000	88,180,000	490,000
受取協賛金	84,370,000	88,180,000	△ 3,810,000
受取公演協賛金	4,300,000	0	4,300,000
受取寄付金	6,820,000	7,233,145	△ 413,145
受取寄付金	5,328,000	5,825,145	△ 497,145
受取寄付金振替額	1,492,000	1,408,000	84,000
雑収益	3,367,494	910,689	2,456,805
雑収益	3,367,494	910,689	2,456,805
為替差益	0	605	△ 605
為替差益	0	605	△ 605
経常収益計	453,803,445	261,497,599	192,305,846
(2) 経常費用			
事業費	392,017,179	241,971,247	150,045,932
1 役員報酬	2,160,000	2,160,000	0
2 給料手当	60,123,689	58,642,000	1,481,689
3 アーティスト報酬	70,992,770	28,232,638	42,760,132
4 退職掛金	1,851,100	1,768,800	82,300
5 福利厚生費	9,473,900	9,005,473	468,427
6 会議費	783,995	39,375	744,620
7 渉外費	48,000	644,826	△ 596,826
8 旅費交通費	3,870,021	2,366,831	1,503,190
9 アカデミー旅費	26,662,258	3,463,540	23,198,718
10 アカデミー宿泊費	10,463,550	4,259,290	6,204,260
11 アカデミー食料費	4,027,890	457,400	3,570,490
12 アカデミー諸費	362	4,378	△ 4,016
13 アーティスト旅費	33,388,316	4,849,623	28,538,693
14 アーティスト宿泊費	10,410,295	8,420,652	1,989,643
15 アーティスト食料費	224,085	71,200	152,885

科 目	当年度	前年度	増 減
16 アーティスト諸費	16,250	21,491	△ 5,241
17 楽器費	2,133,954	1,131,150	1,002,804
18 楽譜費	819,468	706,736	112,732
19 資料費	52,993	52,316	677
20 著作権料	472,528	1,357,551	△ 885,023
21 会場使用料	2,583,870	804,489	1,779,381
22 通信運搬費	3,698,840	3,506,221	192,619
23 消耗什器備品費	400,101	877,740	△ 477,639
24 消耗品費	2,760,096	2,466,938	293,158
25 短期簡易設備費	2,142,800	934,780	1,208,020
26 光熱水料費	525,159	348,788	176,371
27 賃借料	11,415,247	11,073,306	341,941
28 保険料	128,005	88,720	39,285
29 諸謝金	3,250,025	2,153,067	1,096,958
30 委託費	56,735,317	43,871,995	12,863,322
31 委託諸費	2,181,947	1,047,150	1,134,797
32 印刷製本費	10,149,187	7,428,891	2,720,296
33 物品製作費	2,281,799	2,931,164	△ 649,365
34 宣伝費	24,384,834	18,081,433	6,303,401
35 記録費	1,640,007	1,561,367	78,640
36 租税公課	19,601,030	8,541,028	11,060,002
37 支払負担金	4,106,726	4,203,976	△ 97,250
38 支払手数料	3,290,480	1,868,830	1,421,650
39 支払寄付金	0	5,400	△ 5,400
40 為替差損	7	0	7
41 雑費	112,162	527,600	△ 415,438
42 建物減価償却費	28,841	65,745	△ 36,904
43 備品減価償却費	585,142	976,949	△ 391,807
44 ソフトウェア減価償却費	2,040,133	950,400	1,089,733
管理費	26,537,040	24,758,131	1,778,909
1 役員報酬	5,040,000	5,040,000	0
2 給料手当	10,408,139	10,488,621	△ 80,482
3 退職掛金	244,500	261,600	△ 17,100
4 福利厚生費	2,233,776	2,158,554	75,222
5 会議費	273,358	125,753	147,605
6 渉外費	224,240	148,066	76,174
7 旅費交通費	1,660,368	857,039	803,329
8 通信運搬費	811,415	862,396	△ 50,981
9 消耗什器備品費	10,280	24,143	△ 13,863
10 消耗品費	145,568	182,551	△ 36,983
11 光熱水料費	24,890	20,492	4,398
12 賃借料	580,575	561,114	19,461
13 保険料	3,907	3,874	33
14 報酬賃金	1,828,200	1,828,200	0
15 租税公課	1,252,170	546,372	705,798
16 支払負担金	275,286	284,605	△ 9,319
17 支払手数料	780,269	594,597	185,672
18 委託費	128,328	174,118	△ 45,790
19 雑費	575,108	530,951	44,157
20 建物減価償却費	1,841	4,197	△ 2,356
21 備品減価償却費	34,822	60,888	△ 26,066

科 目	当年度	前年度	増 減
経常費用計	418,554,219	266,729,378	151,824,841
評価損益等調整前当期経常増減額	35,249,226	△ 5,231,779	40,481,005
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	35,249,226	△ 5,231,779	40,481,005
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2	6	△ 4
什器備品除却損	2	6	△ 4
経常外費用計	2	6	△ 4
当期経常外増減額	△ 2	△ 6	4
税引前当期一般正味財産増減額	35,249,224	△ 5,231,785	40,481,009
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0
当期一般正味財産増減額	35,229,224	△ 5,251,785	40,481,009
一般正味財産期首残高	143,139,506	148,391,291	△ 5,251,785
一般正味財産期末残高	178,368,730	143,139,506	35,229,224
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	496,671	510,000	△ 13,329
基本財産受取利息	496,671	510,000	△ 13,329
受取寄付金	4,857,500	1,492,000	3,365,500
受取寄付金	4,857,500	1,492,000	3,365,500
一般正味財産への振替額	△ 1,988,671	△ 1,918,000	△ 70,671
当期指定正味財産増減額	3,365,500	84,000	3,281,500
指定正味財産期首残高	138,252,000	138,168,000	84,000
指定正味財産期末残高	141,617,500	138,252,000	3,365,500
III 正味財産期末残高			
	319,986,230	281,391,506	38,594,724